

研究課題番号	5RF-2006
研究課題名	タイヤ粉塵由来マイクロプラスチックの時空間分布特性及び交通流の影響 解明
研究実施期間	2020年度～2022年度
研究機関名	東京都立大学
研究代表者名	酒井 宏治

1. 委員の指摘及び提言概要

タイヤ由来のマイクロプラスチック（MPs）の測定法を確立し実際のサンプリングに適用した研究で、交通状況との関連を分析した点も優れている。データ数的にはまだ十分ではないが、交通の状況（速度、直線、曲線など）を把握し、MPs量・性状等との関係を分析した成果は、基礎データとしての意味がある。しかし、将来の規制等に向けた研究成果の活用を視野に入れた場合、実用にはまだ距離がある。例えば、MPsの排出削減に向けた科学的示唆を導くためのパラメータの選定、タイヤ由来のMPsが都内の道路全体から一日当たりどの程度発生し、どの程度流出するかというダイナミックな評価方法の構築などに繋がるような成果などが求められる。今後の研究進展が期待される。

2. 採点結果

評価ランク：A